

執筆者紹介（執筆順、*は編者）

- *遠藤英樹（えんどう・ひでき） はしがき、序章、第3章、第5章、第7～12章、第14章、
第15章、補章1、補章3、あとがき

関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士（観光学）：立教大学。

現在 立命館大学文学部地域研究学域教授。

専門 観光社会学，現代文化論，社会学理論など。

著作 『ツーリズム・モビリティーズ——観光と移動の社会理論』 ミネルヴァ書房，2017年。

Understanding Tourism Mobilities in Japan, edited, Routledge, 2020.

『ポップカルチャーで学ぶ社会学入門——「当たり前」を問い直すための視座』 ミネルヴァ書房，2021年。

山本理佳（やまもと・りか） 第1章

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得退学。博士（社会科学）：お茶の水女子大学。

現在 立命館大学文学部地域研究学域教授。

専門 文化地理学，文化遺産研究など。

著作 『「近代化遺産」にみる国家と地域の関係性』 古今書院，2013年。

『現代観光地理学への誘い——観光地を読み解く視座と実践』 共編著，ナカニシヤ出版，2021年。

渡部瑞希（わたなべ・みずき） 第2章

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程満期退学。博士（社会学）：一橋大学。

現在 帝京大学外国語学部講師。

専門 文化人類学，観光人類学，民俗学。

著作 『友情と詐欺の人類学——ネパールの観光市場タメルの宝飾商人の民族誌』 晃洋書房，2018年。

『基礎概念から学ぶ観光人類学』 共著，ナカニシヤ出版，2022年。

小野真由美（おの・まゆみ） 第4章

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）：東京大学。

現在 立命館大学文学部地域研究学域准教授。

専門 文化人類学，観光人類学，東南アジア地域研究，移住・移民研究など。

著作 『国際退職移住とロングステイツーリズム——マレーシアで暮らす日本人高齢者の民族誌』 明石書店，2019年。

“Descending from Japan: Lifestyle mobility of Japanese male youth to Thailand,” *Asian Anthropology* 14(3), 2015.

“Commodification of Lifestyle Migration: Japanese Retirees in Malaysia,” *Mobilities* 10(4), 2015.

神田孝治（かんだ・こうじ） 第6章

大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（文学）：大阪市立大学。

現在 立命館大学文学部地域研究学域教授。

専門 文化地理学，観光地理学，観光学。

著作 『観光空間の生産と地理的理想力』ナカニシヤ出版，2012年。

『現代観光地理学への誘い——観光地を読み解く視座と実践』共編著，ナカニシヤ出版，2021年。

『移動時代のツーリズム——動きゆく観光学』共編著，ナカニシヤ出版，2023年。

前田一馬（まえだ・かずま） 第13章，補章2

立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士（文学）：立命館大学。

現在 京都橘大学経済学部専任講師。

専門 歴史地理学，人文地理学。

著作 「大正・昭和戦前期の軽井沢における「千ヶ瀧遊園地」の開発と別荘所有者の特徴」『歴史地理学』第62巻3号，2020年。

「高低差から読むコザの空間形成——GISによる地形復原から」『KOZABUNKA BOX』第17号，2021年。

「明治前期の陸軍による脚気転地療養地の選定過程」『地理学評論』第94巻5号，2021年。

谷崎友紀（たにざき・ゆき） 第16章

立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士（文学）：立命館大学。

現在 京都文教大学総合社会学部実践社会学科専任講師。

専門 歴史地理学，人文地理学。

著作 「旅人の属性にみる名所見物の特徴——武蔵国から京都への旅日記を事例として」『人文地理』第69巻2号，2017年。

「近世初期の歌枕を中心とした京都見物——石出常軒『所歴日記』を事例として」『歴史地理学』第60巻3号，2018年。